

もつと清水が好きになる。

しみの風

2021

1

No.567

特集

農業を未来へつなぐ ～羽ばたく新規就農者～



時代の変化に対応する JAを目指す

あけましておめでとうございます。ご家族おそろいで健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、JA事業に格別なるご支援、ご協力をいただき感謝申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大により、大きく生活スタイルが変わる1年になりました。マスクを着け、3密を避け、こんなに人との距離をとらなければならないとは、年の始まりに誰が予想したでしょう。

役員改選により、6月からは新体制がスタートしました。当JAは、この様な状況を「ピンチはチャンス」ととらえ、「こんな時代だからできない」はやめよう」をモットーに、役職員全員で新たな挑戦を進めています。

自粛による花の需要低迷には、生産者応援企画「しみずの花を飾ろう」キャンペーンをタイムリーに実施し、コロナ禍で少人数制がスタンダードとなった葬祭事業は、葬儀の新たな方法を模索してきました。



代表理事組合長

柴田 篤郎

C O N T E N T S

[今月の表紙]



齋藤さんご一家(清水区駒越中)

後列: 祐貴さん(39) 有沙さん(35) 璃乃羽ちゃん(2)

齋藤家は祐貴さん親子と祖父・清さん(96)、祖母・実枝子さん(91)、ご両親の清治さん(69)、安子さん(64)の4世代7人家族で和気あいあい。ハウスの中で真っ赤に色づいた「紅ほっぺ」の収穫に追われています。



2 新春のごあいさつ/
代表理事組合長 柴田篤郎

4 特集/
農業を未来へつなぐ
～羽ばたく新規就農者～

10 TOPICS

12 遠山由美のこだわりレシピ
「ミカンとチキンのハニーマスタードピザ」

14 Information

16 かんたくんのでてくさんぽ
第7回 興津地域

また、中止となったアグリフェスタの代替えとして行ったネット主体の農業祭「JAしみず大感謝宝市」は、多くの方にご利用いただき、12月には、農家の労働支援とJAの原点に返る対話運動として、職員による援農ボランティアを始めました。

私は、組合員とJAが真摯に向き合って耳を傾け、JAの本質に戻ることが協同組合運動にとって最も大切だと、信じてやみません。本年も、農家との対話を大切に「おらが農協」、JAしみずが「あって良かった」と言っていただけのように、気持ちを新たに、活動を進めます。

組合員の皆さまには、本年も変わらぬご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。



農業を未来へつなぐ

～羽ばたく新規就農者～

農業者の高齢化と後継者不足が課題となる一方で、静岡市内では毎年、約20人が新たに農業を始め、地域や農業の活性化に貢献しています。

今月号は、静岡市の農業の現状と新規就農した3人のルポをお届けします。

静岡市で新たに就農した人の年齢は20～40歳代が大半を占め、その半数以上が農業の未経験者です。

作物の生産技術や経営のノウハウは、農業経営士などから研修を受け、最近では静岡県の「がんばる新農業人支援事業」を活用して、個人の農家だけでなく、作物部会等から指導を受けて就農しています。

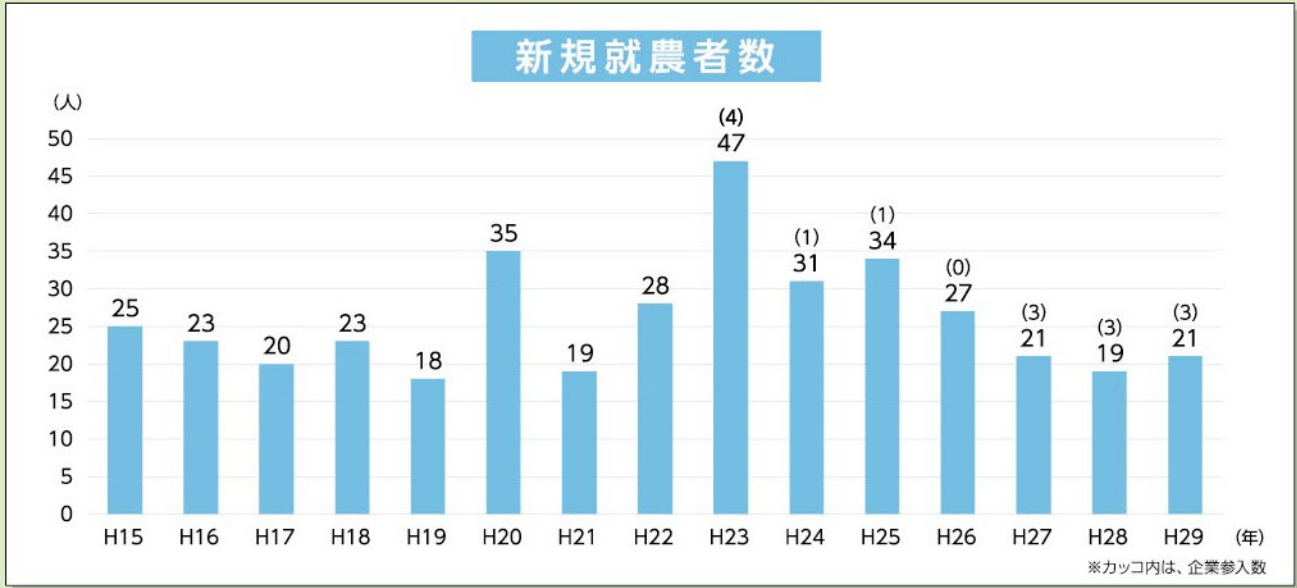
静岡市の農業は、農家数・農業就業人口ともに減少傾向にあり、それに伴って経営耕地面積も減少し、多くの耕作放棄地が存在しています。

一方で、農業経営の改善を図り、効率的かつ安定的な農業経営を目指し市から認定を受けた「認定農業者」は、高齢化が懸念されるものの、これから地域農業を背負って立つ30～40代の青年も多く存在します。

新規就農者の参入は、今後も農業で生計を立てようとする人たちが永続して農業経営を行い、地域を盛り上げ、産地を維持するためにも、大変意義があるものです。

6ページから紹介する新規就農者の皆さんは、農業規模を縮小する農家から農地や施設を借り受けたリ、耕作放棄地を再生して農業生産を行ったリして農地の維持に貢献しているほか、各

静岡市の農業の現状

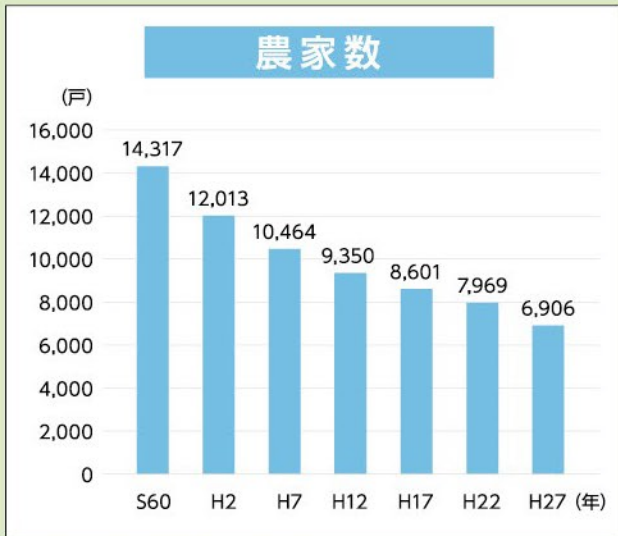


新規就農者の年齢

20代	30代	40代	50代	60代以上	不明
7人	6人	3人	1人	0人	1人

※平成29年度（企業参入は除く）

平成29年度の新規就農者は、年齢別では39歳以下が13人と青年の就農者が多く、農家・非農家出身別では、農家出身の6人に対し、非農家出身が10人と上回っています。



出典：静岡市農業振興計画を元に一部編集



農業を始めたい方を支援します！

農業経営を始めるにはさまざまな知識や準備が必要です。当JAでは農業経営を始めたい方へ特産作物の紹介や農業体験のあっせん、研修先の紹介などを行っています。

また、就農に必要な農地のあっせんや営農計画の作成支援から営農指導まで、一貫して支援をしています。

農業を始めたい方は、JA営農窓口へお問い合わせください。

清水で農業を始めたい方へ



作物の生産部会に加入して産地の維持・拡大にもつながっています。また、彼らがそこに至れたのは、農家の皆さんの技術指導や農地・施設の貸借などの支援があったからこそです。これからもお互いに助け合い切磋琢磨することで、産地がさらに盛り上がり、個々の経営も向上していくことになることを期待しています。



傾斜地栽培も取り入れ うまいミカンを目指す

大学卒業後、父親が栽培する茶園を1年間手伝いました。しかし、もっと視野を広げたいと考え、半年は若手県でリンゴ栽培、その後の13カ月をドイツでラズベリーやリンゴの栽培について研修してきました。

当初はラズベリーでいこうと考えました。でも、日本とドイツでは気候が違うため規模拡大は難しかったので、父親が栽培していたミカン園60aを2014年に引き継ぎ、就農しました。自分の農業をしたかったので、父親と経営を分離しました。

規模拡大するには園地を集約したほうが良いことは分かっていますが、まとまった園地がなかったので茂畑以外でも条件に合った園地を確保してきました。

平たんな大規模造成地である茂畑基盤整備地でも栽培していますが、傾斜地を生かしたミカン経営にも力を入れています。

効率を考えると平たん地のほうが有利ですが、品質を高めるには、斜面のほうが水はけもよく園地をコントロールしやすいので、大変ではありますがやりがいを感じています。

ただし従来の傾斜地では1段の幅が

杉山 琢哉さん [清水区茂畑] すぎやま たくや

1991年8月生まれ(29歳)

就農: 2014年12月

経営: 茂畑、尾羽、興津地区などで青島温州を中心とした柑橘類やラズベリー計4haを栽培している。



栽培する柑橘類は、極早生、早生、青島温州、中晩柑と品種リレーができるよう工夫し、労力の分散を図っている。



「経営を安定させるため、栽培規模の拡大や認定農業者になることも考えている」と話す杉山さん。

機械を導入し効率高める

狭く、作業効率が悪いので重機で幅を広くして機械化にも対応できるように整備しました。

農業散布のスピードスプレイヤや運搬車両、草刈り機などが園地に直接入れるので効率が高まっています。特に農業散布は格段に時間を短縮できたので、満足しています。労力を分散化させるために極早生、早生、青島温州、中晩柑類とつながるよう品種を工夫しています。

就農当時に植えた苗木が順調に育

ち、収量も年々増え、経営が安定してきたことはうれしいです。悩みは、切り子さん(収穫作業者)の確保です。収穫時期の切り子さんをごのように確保するかが今後の課題です。

茂畑地区は、後継者である若手生産者が多いのでお互いに情報交換するなど励ましています。また、茂畑基盤整備地内には県の果樹研究センターがあり最先端の情報を知ることができるとも力強いです。もちろんJAからのサポートも助かります。

安定収入を得るためにさらなる規模拡大も視野に入れ、今年は認定農業者を目指します。

収穫と出荷の喜びは 会社員では味わえない

大学は農学部でしたが、就職先は農業とは関係のない建築関係企業を経て、東京の市場に就職しました。市場での勤務は不規則で残業も多く「このままでは体を壊すかもしれない」と思い、2015年に清水に帰ってきました。

次の仕事を考えた時、祖父母が群馬で下仁田ネギを栽培していたことを思い出しました。大学での学習も生かしたいと考え「やるなら作物を育てる農業がいい」と決め、県の中部農林事務所を訪れました。中部農林では収益率の

高いイチゴを薦められ「これならいけそうだ」と思いました。

新丹谷基盤整備地内でイチゴ栽培をしている袖師町の大澤鐘史さんを紹介してもらい、1年3カ月ほどイチゴ栽培の研修を受けました。

就農当初はトラブル続き

園地は、JAの紹介で駒越の石垣イチゴのハウスと高設栽培ハウスを借り受けることができ、2016年から母と弟の3人で「紅ほっぺ」を栽培しています。1年目から石垣イチゴと高設栽培

培の両方で始めたものの、当然のごとく多くのトラブルに悩まされました。

特に炭そ病被害で苗の半分がダメになった時は、目の前が暗くなりました。収穫時期は大幅に遅れ、翌年の1月になってようやく収穫にこぎつけたので収入も大幅に減ってしまいました。

3年目には、台風被害でビニールハウスの通路部分がペチャンコにつぶれてしまい、フレームから建て直しになったこともありました。

そんな時に頼りになったのは、JA駒越営農拠点や青壮年部です。販売先もきちんと確保してくれるので安心して出

荷しています。昨年はJAからの情報提供で、現在のハウスの隣を購入できたことは幸運でした。今後は購入したハウスを整備して作付面積を増やしていきたいと思っています。出荷量も増えてきたので、JAのパッケージセンターでパック詰めを依頼しています。

収穫は12月から始め、5月ごろまで続きますが、自分で栽培したイチゴを収穫し、出荷した時の気持ちはサラリーマン生活では味わえません。課題はたくさんありますが、JAなど多くの人の指導を仰ぎながらイチゴ栽培を続けていきます。



吉田 仁さん [清水区草薙]

よしだ ひとし

1988年3月生まれ(32歳)

就農: 2016年7月

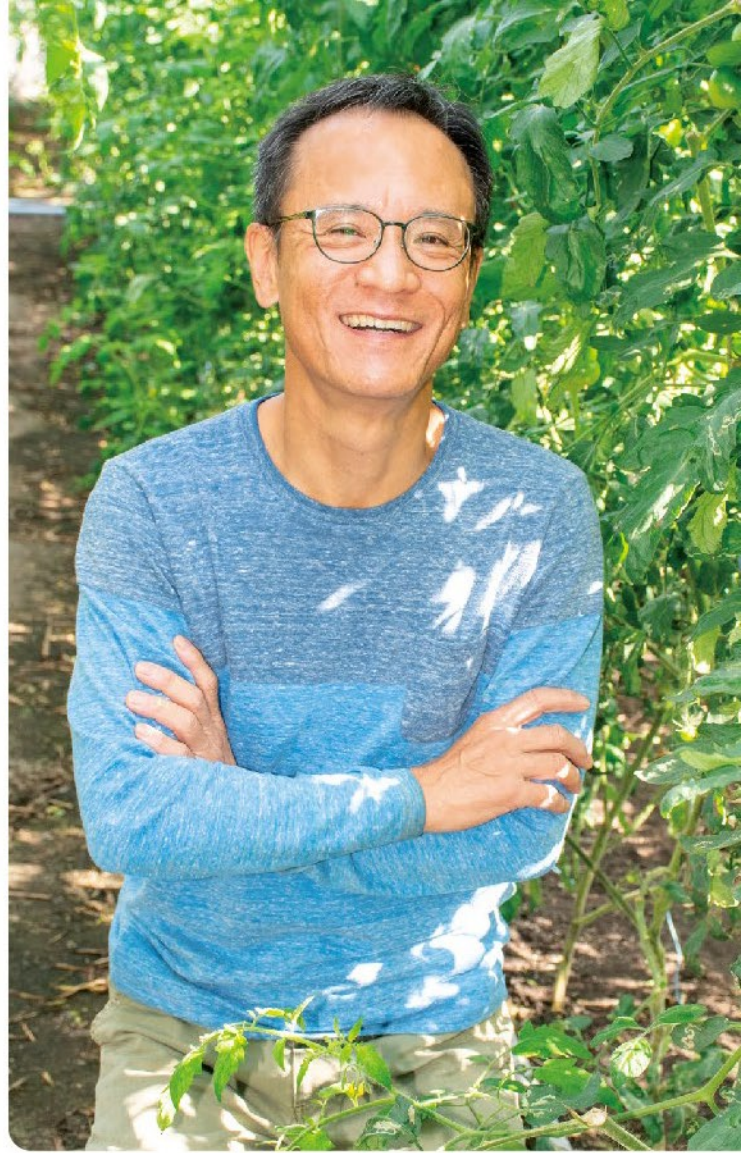
経営: 駒越地区で母親と弟の3人で石垣・高設栽培(29a)でイチゴ(紅ほっぺ)を栽培。土耕栽培も行っている。



一緒に農業に取り組む弟の智さん(左)と母親の貴美子さん(右)。



駒越地区にある高設のイチゴハウスでは静岡イチゴのブランド品種「紅ほっぺ」を栽培。



ト マト栽培を通して 退職後の人生を楽しむ

会社に勤務していた当時から家庭菜園で野菜を栽培していたので「農業は楽しいな」と感じていました。小型精密加工企業で技術系に従事していましたが、いずれ迎える定年退職後の第二の人生を考えた時「日ごろ楽しんでる農業がいいな」と考えました。そして55歳で会社を退職しました。

もちろん家族にも相談しました。妻は「好きな農業を生かしたら」と背中を押してくれたので決意しました。とはいえ、職業としての農業はすぐできるものではありません。県の中部農林

事務所に相談しましたら、三保のトマト農家である川村研史さんを紹介してくれました。

川村さんの農園に1年間通い、トマト栽培の研修を受けました。農作業の厳しさも教えてもらいましたが、一番の思い出は川村さんの「人間性」に惹かれたことです。川村さんの指導がなかったら今のトマト栽培はできませんでした。

研修中から農地を探していました。が、幸いなことに2018年に管理の行き届いたガラス温室ハウスを三保で借りることができました。栽培品目は、中玉トマトの「レッドオーレ」とミニ

佃 保徳さん [清水区船原] つくだ やすのり

1962年4月生まれ(58歳)

就農: 2018年4月

経営: 三保地区のガラス温室(4a)で中玉トマト(レッドオーレ)とミニトマトを栽培、ビニールハウスと露地園地(2.3a)でエダマメ、タマネギを栽培。



佃さんが栽培する中玉トマトの「レッドオーレ」は、温室栽培によって秋～春先まで出荷時期となる。三保・駒越地区の特産品。



「好きな農業を楽しみたい」と定年退職後、1年間の研修を経て独立。ガラス温室を借り、トマトを栽培する。

トマトです。

私は楽道家なので「何とかなるのでは」と安易に考え、環境に優しい農業を目指しました。農薬も少なめに散布したら、見事なくらい病害虫被害に遭いました。

関係者のアドバイスに感謝

散布する量やタイミングがよく分からなかったのが当然と言えば当然で、家庭菜園との違いを知らされました。川村さんやJAの指導員などに相談し、栽培管理も見直しました。また、近所にベテラン農家がいて多くの助言を

いただいたことも助かりました。おかげさまで難を逃れることができました。収穫したトマトはJA三保営農拠点に出荷しています。将来のことを考えると規模拡大も必要だと思いますが、まずは高品質で安定した中玉トマトの栽培に注力していきます。

また、経営を安定させるためにエダマメとタマネギをビニールハウスや露地で栽培しています。

トマトを栽培していてうれしいのは消費者から「おいしいトマトありがとう」の声を聞くことです。これからも自然と向き合い、トマト栽培を続けていきます。

新規就農者は「思い」や「覚悟」を持った人たち

私が父親から農業を引き継いできて思うことは、農業は研修期間のワンシーズンを経験すればできるようなものではないということです。「昔の職人の覚え方」ではないですが、時間を使って作業を手伝いながら、師匠の技を盗み、うわべだけでなく深いところを知らなければ、ちゃんとした仕事はでき

ないと思います。

技術の習得には「思い」や「覚悟」が必要です。また「人脈づくり」も大切ですね。

栽培は、分からないことの連続です。「葉っぱが茶色くなってきたけど……」「雨が多いけど、どんな対策を誰に聞けばいいの?」農家なら家族に聞けば良いところですが、新たに始めたばかりの農

家は、近くの畑に農業の先生と呼ばれる農家がいるも、その人を知らずに右往左往して、結果、解決策が見つからないなんてこともあるのではないのでしょうか。

いつの時代も大切なものは「人脈」と「対話」

一人で黙々と作業する農業は「孤独」な職業。JAの青壮年部など同世代の農業者との横のつながりも、とても大事だと思えます。抱えている悩みは、意外と皆も悩んでいることかもしれません。また、周りの方たちに協力してもらって解

決することも結構あるものです。

地域のイベントなどには積極的に参加して、「コミュニティ」の中に自分から入っていく事が必要ですね。JA職員にも言えることです。

農家の潤滑油になるのがJA職員の使命

JAはそんな皆さんの手助けをする場所だと思えます。JA職員が解決策を提案する、もしくは「〇〇さんに聞いてみるとよいですよ」と農家の先生を紹介することも「あり」ではないかと思えます。困ったとき、JAに相談してみてください。

長い年月をかけて今の農業が確立されました。しかし持続可能な農業には、今までの経験に加え、時代にあったアイデアや方法を検討していくことも必要です。

農家の悩みの一つ一つを具体的に解決していくこと。そんな地道な活動の積み重ねが、皆の悩みの解消になっていきます。

そしてその活動がいずれ大きな渦になり、持続可能な農業・住みやすい地域社会の確立につながります。それが協同組合だと思えます。



宮農経済事業本部
常務理事

青木 陽一郎

Profile

1964年6月生まれ。大学を卒業後、実家のギンナン農家を継ぐ。JAしみず青壮年部長・顧問、監事、理事を歴任し、昨年6月から常務に就任。座右の銘は「まずは種をまこう」。



父親から農業を継いだ当時は、模範となるようなギンナンの産地がなかった時代。鮮度を保つための真空パックによる出荷形態など、栽培や加工技術を試行錯誤してきた。



各地域の活動やイベントなど、
さまざまな話題を紹介します。

農業と福祉の共生へ

福祉事業所利用者がミカン収穫

生産者の青木悟さんと障害のある人の自立を支援するNPO法人「オールしずおかベストコミュニティ」は12月4日、市内福祉事業所の利用者を対象に、茂畑基盤整備地のミカン園で収穫実習を行いました。同法人が事業所利用者に参加を募り、19人が参加。

青木さんが協力し、参加者は「ミカンの軸は2度切りにする」「コンテナに移し替える時は丁寧に扱う」などと指導を受け、一つずつ丁寧に収穫しました。



▲ ミカンの収穫に汗を流した福祉事業所の利用者

キウイ部会

甘さたっぷり「東京ゴールド」出荷



当JAキウイ部会は11月11日、集出荷センターでキウイフルーツ「東京ゴールド」の目ぞろい会を開き、出荷を始めました。東京ゴールドは先がとがった栗のような形で毛が少なく、果肉は鮮やかな黄色で甘みが強いことが特徴。年内の出荷は「レインボーレッド」が主力でしたが、



▲ 出荷基準を確認しあう生産者

が、キウイフルーツかいよう病の被害が大きく、2015年から「東京ゴールド」に切り替え、8人が生産しています。今シーズンは、11月下旬まで、昨年対比150%の約3tを市内スーパーや県内・京浜方面の市場に出荷しました。

農業用塩化ビニールなど

廃棄資材を無料回収

当JAは11月17日、清水区増で使用済み農業用塩化ビニールの無料回収を行いました。組合員が農作業車の荷台いっぱいのビニールを持ち込み、回収したビニールは、高知県の処理施設で処理されました。

利用者は「農業は必ず塩化ビニールを使う。1年程で買い替えるものもあり、JAが処分してくれるので助かる」と話していました。JAでは30年以上前から廃棄資材を回収。農薬の空ポリ容器や金属缶、農業用コンテナなども地域ごとに無料で回収しています。



▲ ビニールを廃棄するJA職員

SDGs理解を深めよう

プラごみによる海洋汚染を学ぶ

女性部は11月16日、JA本店でSDGs勉強会を開き、清水区の東海大学海洋学部の学生を講師に招いて、本部役員と支部長らが「プラスチックごみを与える海洋汚染問題」について学びました。講師は「一度流れたごみの回収は難しい。豊かな海を守るため、街中にごみを捨てない、きちんと回収することが大切」と訴えていました。

また、親元を離れて生活する学生に参加した女性部員が作った農産物を手渡し、助け合う意識を持つことがSDGsにつながることも体現しました。



▲ 今後の女性部活動に役立てようと開いた勉強会

両河内茶業会

「高嶺の香」摘心で冬支度

両河内茶業会は11月17日、地域の高級ブランド茶「高嶺の香(たかねのはな)」の専用茶園で、2020年最後の管理となる摘心作業を行い、茶業会のメンバーら12人が、一枝ごとはさみで丁寧に頂部を切り落としました。摘心は新芽に栄養分を集中させ、高品質な一番茶を育てるための作業。冬季は茶の木が休眠に入るため、本格的な冬が来る前に



▲ 茶の枝を丁寧に切り落とす会員

行います。

「高嶺の香」は、静岡茶市場の新茶取引(機械製茶)で41年連続して最高値を付け、2020年は1kg 8万8,888円で取引されました。

吉川勝敏会長は「夏場の水管理も十分に行い、生育は順調。2021年も味、香り共に深いものができると思う」と話していました。

ハーベストカレッジ

ハーベストキッチンでそば打ちに挑戦



ハーベストカレッジは11月11日と18日、コロナ感染防止のため、4グループに分かれてそば打ちを体験しました。挑戦したのは、長野県産の新そば粉を使った二八そば。(株)JAしみずサービスの前澤勉さんと菅原伸子さんから、そばどころ長野県北部にあるJA大北流で教わりました。

そばが完成した後は、講師の打ったそばを試食。「自分の打ったそばを食べるのが楽しみ」と、出来上がったそばは自宅へ持ち帰って味わいました。



▲ のべ棒でそば生地を薄く伸ばす作業に取り組む受講生

庵原茶業会

新発売の紅茶ボトル缶を寄贈

庵原茶業会は11月12日、静岡市立清水庵原小学校と静岡市立清水庵原中学校を訪れ「清水の紅茶ボトル缶」を寄贈しました。コロナ禍で食育体験が中止となり、小中学校との交流がしにくい中、「清水の紅茶ボトル缶」を通して地元茶に親しんでほしいと、茶畑の写真と地域の産地名を印刷した特製のポストカードとポスターも一緒に届けました。

杉山一弥会長は「紅茶産地・清水を知ってもらいたい機会になれば」と期待を込めて話していました。



▲ 清水庵原小学校へ紅茶を届けた庵原茶業会の杉山会長(左)

さわやかな風味、気軽に味わって
本ユズ12月末まで出荷



当JAは11月13日、JA集出荷センターで「本ゆず」の目ぞろい会を開き、出荷を始めました。目ぞろい会には生産者8人が参加し、着色具合や階級などを確認。生産者の小澤茂樹さんは「ユズは酸味が強く直接食用にすることはないが、薬味や調理用としての利用価値は高い。食卓でも気軽に味わってほしい」と話していました。



▲ 本ユズの出荷規格を確認する生産者ら

清水区では30年ほど前に温州ミカンの補完作物として、耐寒性が強く、そうか病などの耐病性も高いユズが導入されました。今シーズンは、12月下旬まで昨年並みの7tを京浜市場などへ出荷しました。

遠山由美の



こだわり♪ レ・シ・ピ



上記QRコードからムービーでもチェック!



ミカンとチキンのハニーマスタードピザ

～甘酸っぱいミカンとハニーマスタードがベストマッチ!～

材 料 直径21cm程のピザ1台分

温州ミカン……………3個
 バター……………10g
 ピザ生地(市販のもの)……………1枚
 鶏モモ肉……………2枚(正味400g)
 塩こうじ……………大さじ3
 ニンニク……………1片
 マッシュルーム……………4個

A 粒マスタード……………大さじ2
 ハチミツ……………大さじ1
 白ワイン……………大さじ1
 顆粒コンソメ……………小さじ1

B アーモンド……………20g
 クラッカー……………20g
 フライドオニオン……………10g
 顆粒コンソメ……………小さじ1

●トッピング

ブラックオリーブ……………4個
 ピスタチオナッツ……………8粒
 ローズマリー……………適量

作り方

(1) ミカンをバターで焼く

ミカンは皮をむき、横方向に3等分する。フライパンにバターを中火で溶かす。パチパチと音がたち、大きな泡ができた後、細かい泡へと変化してハシバミ色になったら、スライスしたミカンを入れる。かすかに火が入る程度に、片面30秒～1分焼く。

(2) 鶏肉とマッシュルームの準備

鶏肉は皮と余分な脂をとり、3cm角程度の大きさに切り分ける。すりおろしたニンニクと塩こうじをまぶし、20分程度おく。マッシュルームは薄くスライスする。冷たいままのフライパンに鶏肉とマッシュルームを並べ、弱めの中火でさわらずにゆっくり火を通す。

(3) ソースと鶏肉と絡める

Aを合わせる。鶏肉にほぼ火が入ったら火を強めて裏返し、すぐに鶏とマッシュルー

ムをフライパンの端に片寄せる。空いたところに**A**を入れ、泡立ったら、鶏とマッシュルームに手早く絡める。加熱しすぎると酸味が飛んでしまうので、すぐ火を止めて粗熱をとる。

(4) ピザを仕上げる

オーブンを250度に予熱する。**B**をポリ袋に入れて砕き、天板に置いたピザ生地に広げる。この上にチキンをのせ、ミカンを並べ、スライスしたブラックオリーブと軽く刻んだピスタチオを散らす。オーブンに入れ、10分程度焼く(焼く時間は、ピザ生地のパッケージの記載を参考にする)。皿に盛り、ローズマリーを飾る。



遠山 由美

野菜ソムリエ上級プロ
 NR、食育プロデューサー
 他<略歴>

日本初の「シニア野菜ソムリエ」第1号取得者。野菜や果物の魅力を料理、栄養学、食育など多くの手法で伝え、生産者と消費者の掛け橋として、テレビやラジオなど多方面で活躍中。

旬のまめ知識



温州ミカン

自然界を赤や黄色・だいたい色に染め上げる色素=カロテノイド群。これまでに600種ほどが見つかり、血中に多いリコペン、α-カロテン、β-カロテン、ルテイン、ゼアキサンチン、β-クリプトキサンチンを中心に、人間には20種類程度存在しています。抗酸化力が強く、健康づくりに役立つとされますが、体内で作ることはできませんから「食べる」しかありません。ミカンなど、色鮮やかな野菜・果物をたっぷり食べるカラフルeatsを今日からはじめましょう!

このコーナーでは、清水区内の昔懐かしい風景や行事、建物などの古い写真を随時募集します。

珍しい古い写真をお持ちの方は、広報課(TEL367-3221)までぜひご一報ください。



清水の歴史を
貴重な資料で振り返る
[archive-25]



田打ち節句(田打ち正月)(平成7年頃)

資料:伊藤弘氏(清水区草薙)

田

打ち節句(田打ち正月)は、農家ならではの新年の行事の一つです。稲作地帯で多く見られる行事で、1月11日に行います。

田んぼに供え物をし、くわ入れなどをして田の神に毎年の実りを感謝し、今年の豊作を祈ります。

写真は、平成7年頃に伊藤弘さんの父親・武司さん(故人)が園地で田打ち節句を行っている様子です。伊藤家の田打ち節句は、かつて年貢を納めた日(1月11日)に行ったと言い伝えられ、現在は行われていません。

伊藤家では11日の早朝、園地(かつては田んぼ)に行き、笹竹を5本差し、くわで畑を起し、鏡餅をお供えして「五穀豊穡」を祈願しました。祈願した後は鏡もちを自宅に持ち帰り、雑煮にして家族で味わったそうです。田打ち節句は、新年最初のくわ入れということによって仕事始めの意味合いも含まれています。

日本人の生活は、古くから稲作を中心として成り立ってきました。農耕儀礼は、人の力ではどうにもできないことを神に託すだけでなく、家族や地域の絆を強めるという意味合いもあります。地域のつながりや行事は以前に比べて少なくなってきましたが、次世代に農耕儀礼の行事をつなげたいものです。

近年、農業機械の急速な普及、農作業従事者の高齢化等に伴い、農業機械等による農作業事故が発生しています。

「事故はめったに起きない」「自分は慣れているから」と油断せずに、正しい使い方、事故の危険性をあらためて認識し、こまめに機械の点検や作業の手順を確認しましょう。

STOP!
農作業事故

チェーンソー チェーンソーによるけがは、治療が困難な傷となります。使用上の注意を守り、安全・安心な作業を心掛けましょう。

よくある事故

- **傾斜地・のり面等での転倒・滑落**
スパイク地下足袋の着用、小段の設置などで、安定的な足場を確保する。
- **刃の接触や飛散物による事故**
・基本を忠実に両手で作業し、片手で作業しない。
・保護帽・ゴーグル、フェースシールドを着用する。
・防護ズボン、チャップス等の下肢を防護する保護衣を着用する。
- **倒木の事故**
・切り落とす枝や木の倒れる方向に十分注意する。
・複数人で作業するときには、十分な間隔を確保する。



●チェーンソー使用時の正しい姿勢

点検・整備

- 点検・調整・作業中断時は、エンジンを停止すること。
- チェーンソーを移動・運搬するときは、エンジンを停止し、刃にカバーを付けること。
- 使用前にチェーンのゆるみ、木くずの詰まりなどをチェックすること。
- 刃の目立てが悪いと、切れ味も悪く、振動障害や故障の原因となる。
定期的に販売店で点検・整備を受けること。

お気軽に
ご相談ください



組合員相談課
山田 恭史

お問い合わせ

点検・修理等のお問い合わせは、最寄りのJA営農窓口へ

清水厚生病院健康管理センター

ドック冬季特別料金



当センターでは、冬季にドックをご予約いただいた方に特別料金をご案内しています。普段よりもご利用いただきやすい価格となっておりますので、ドックを受けたことがない方も、この機会をぜひご利用ください。



ドック冬季特別料金

一日人間ドック
¥39,600 ⇒ **¥30,500**
(通常料金) (冬季料金)

一泊二日ドック
¥67,100 ⇒ **¥55,000**
(通常料金) (冬季料金)

脳ドック
¥40,700 ⇒ **¥33,000**
(通常料金) (冬季料金)



ドック空き状況

一日人間ドック
【2月】17日(水)、19日(金)、24日(水)、26日(金)
【3月】10日(水)、15日(月)、16日(火)、18日(木)

一泊二日ドック
【2月】15日(月)～16日(火)
【3月】1日(月)～2日(火)、11日(木)～12日(金)

脳ドック
【2月】16日(火) 【3月】9日(火)、16日(火)、23日(火)

※ 空き状況は12/11時点のものです。今後の予約状況によっては、ご利用いただけない場合もございます。

TEL: 054-366-3769 (直通)
FAX: 054-366-3407



- ☆ ドック、健康診断は全て予約制となっております。予約をご希望の方は、お電話または直接ご来院ください。
- ☆ JA組合員の方は、ドックに組合員料金がございますので、お気軽にお問い合わせください。
- ☆ 共済ドックは、JAよりご案内しておりますので、ご利用ください。

静岡市農業委員会事務局よりお知らせ

2020年度 農業者年金個別相談会

農業者年金の未加入者、待期（受給待ち）者を対象とした農業者年金個別相談会を開催します。年金の加入を検討している方、加入者で受給について質問がある方等、ぜひこの機会をご利用ください。

開催日 2月2日(火)

・10:30~12:00
・13:00~14:30

※事前の予約が必要です。

会場 静岡市役所 新館16階
農業委員会室
静岡市葵区追手町5番1号

相談時間 1人30分

お問い合わせ・予約

静岡市農業委員会事務局
農政係

TEL:054-221-1483



通年ノーネクタイ実施のお知らせ

当JAでは例年、夏季(5~10月末)の「クールビズ」を実施してきましたが、さらに働きやすい職場づくりと近年のビジネス軽装化の動向から、男性従業員の服装を通年「ノーネクタイ(ジャケットは着用)」とさせていただきます。

今後もTPOに応じた清潔感のある服装・身だしなみに努めてまいりますので、ご理解くださいますよう、お願い申し上げます。



ごちそうカントリーに「はるみ」が登場

放送日 2月7日(日) 11:40 ~

番組 静岡第一テレビ
「ごちそうカントリー」



※放送日時は、放送局の都合により変更となる場合があります。

理事会だより

定例理事会: 11月25日(水)

議事

- 令和2年度上半期経営状況の開示について
- 組合員の出資口数減少の申し出について
- 静岡茶市場取締役候補者の推薦について
- 就業規則等の一部変更について
- 冬期賞与の支給について



清水の魅力を発信します!

SNSや動画配信サイトで発信中

JALしみず Official

本誌に掲載しきれない情報や取材風景などをお届けします。今を切り取ったタイムリーな投稿をお楽しみください。レシピなど記事の一部は、YouTubeでも配信しています。



JALしみず

検索



編集後記

独身の頃。正月は戸隠でスノーボード、信州善光寺で初もうでが仲間うちの通例だった。「牛に引かれて善光寺参り」。思わぬ他人の誘いで、良い方に向かう事を表すことわざである。ふと考えた。牛に頼んで、コロナもどこかへもっていつてもらえないかと。(伊藤)

「一年の計は元旦にあり」という言葉があり、私も毎年、今年の抱負やら意気込みなどを人並みに考える。が、いつのまにか年末まで月日が過ぎてしまっていた。こは「年男」として反省しつつもまずは熱燗を傾けながら一年の計をじっくりと考慮したい。(杉山滋)

昨年、めったに応募しない懸賞で「静岡そだち」が当たり、牛がひと足早く幸運を運んできた。口の中においしさが広がると、心の中にも幸せが広がる。牛肉をかみしめながら「2021年はきっと明るい年になる」と牛に願いを掛けた。(杉山さ)

新年おめでとうございます。昨年はステイホームでなかなか自由に外に出られない日が続き、息苦しさを感ずる一年でした。今年は事態が好転することを祈るばかりです。本年もよろしくお願いたします。

(見宮)



1 長山基盤整備地

山間地27haを整備し、2002年度に11haの農地を造成した。薩埵峠を歩き来する観光客も多く、生産者との交流も深まっている。

2 昭和34年頃の長山地区

西方面の興津川の対岸の海岸線には松並木が続きのどかな景色が広がっている。

3 薩埵峠からの眺望

晴れた日には、雄大な富士山や駿河湾が見える絶景スポット。



提供:望月 茂さん

清水区内の農地は中山間地が多く、労働効率も上がらず、苦勞してきました。そのため他産地に負けない生産性の高い農地を作ろうと全国に先駆けて基盤整備事業を行ってきました。

興津の長山地区も昔の写真(昭和34年頃)で見えるように険しい山があり、農地も限られていました。同地区の事業は平成3年度(1991)に開始し、平成14年度(2002)に11haの農地を完成させました。かつての山が広い農地に変ったことが一目でわかります。

整備地内は、ミカン園やハウスが広がり、生産者の労働環境がとて良くなったことが理解できます。また、整備地の一角には介護老人保健施設「きよみの里」もあり、老後のケアサービスを提供しています。

生産性の高い長山基盤整備地

興津の歴史はとも古く、平安時代には関所が置かれ、歌や旅日記にも、清見が関、という名が盛んに使われていました。江戸時代になると、宿場も置かれ、中でも歌川広重による東海道五十三次の浮世絵、由井に薩埵峠が描かれたことよって、有名になりました。美しかった海岸線は国道や港湾施設などに生まれ変わりました。



第7回

興津地域

ハイカーでにぎわう薩埵峠

長山基盤整備地の東側に隣接しているのが、観光地としても有名な薩埵峠です。今でこそ東名高速道や国一バイパス、JR東海道線がありますが、江戸時代までは薩埵山が海に突き出す地形になっていて東海道の三大難所として通行は不便なところでもありました。

現在は、ハイキングコースが整備されていて休日になると多くのハイカーでにぎわいます。また、展望台からは雄大な富士山や駿河湾、伊豆半島などを眺めることができる絶景ポイントとして知られています。

